

店舗を核とした人々が集う豊かな街づくり → [地域コミュニティとの連携](#)

地域コミュニティとの連携

JFRグループは、全国に店舗がある強みと小売業のノウハウを活かして、地域のステークホルダーである行政、学校、NGO等と連携し、地域活性化につなげていきます。また、コロナ禍により影響を受けた地域のお取引先様などの支援にも取り組んでいます。

店舗による地域の魅力発掘・発信

当社グループは、全国に店舗がある強みをいかし、各地の魅力の発掘・発信による地域活性化に貢献しています。地域の生産品をその地域で消費する「地産地消」の取り組みとして、大丸松坂屋の「Think LOCAL」やパルコのクラウドファンディング「BOOSTER」の取り組みを通して地域活性化を推進していきます。

大丸松坂屋百貨店「Think LOCAL」による 地産地消

大丸松坂屋百貨店は、サステナビリティ活動の一環として、地域の課題を考え応援する「Think LOCAL」に取り組んでいます。2020年9月、「買って、食べて、参加して！キャンペーン」として、全国各地の名産品のオンライン販売と、店舗のある地域のNPOなどへ寄付できるデジタルチャリティを実施しました。店舗のある地域のおすすめの銘品などのオンライン販売「ニッポンをお取り寄せ 地産市場」と、オンラインでの募金を行うことで、コロナ禍によって影響を受けた地域の企業、施設や団体への支援に取り組まれました。



パルコのクラウドファンディング 「BOOSTER」※による地域活性化

パルコは、株式会社CAMPFIREと共同運営するクラウドファンディング「BOOSTER(ブースター)」を活用して、地域活性化への取り組みを進化させています。2020年10月には、仙台パルコを中心に、東北6県の伝統工芸品や地域産品等を応援するクラウドファンディング企画「#スタンドバイ東北」を立ち上げ、東日本大震災を乗り越えて力強く進んできた職人や企業を応援する取り組みを実施しています。

※パルコと日本最大級のクラウドファンディングプラットフォームである株式会社CAMPFIREが協働運営するクラウドファンディングサイト



「BOOSTER」#スタンドバイ東北

次世代育成へ向けた産学連携

当社グループは、次世代育成として、産学連携協定を進めています。

松坂屋名古屋店は、2017年「国立大学法人名古屋大学」と、文化、産業、教育等の分野で地域の発展と人材育成を目的とした包括連携協定を締結しました。取り組みの一環として、2019年イノベーション施設サカエ大学「コモンズ」を実施しました。

大丸神戸店は、2018年「学校法人神戸学院大学」と地域社会の活性化と生涯学習の振興に関する包括連携協定を締結しました。震災の教訓を活かすことを目的に、全国に先駆けて地域の防災・減災教育を進めています。

パルコは、2021年2月、「学校法人昭和女子大学」と、実践的なプロジェクト型学修と地方活性化を目的として産学連携協定を締結しました。学生はパルコでの事業活動を通じて、現実の社会やビジネスの課題に向き合い、新しい感性を活かして、社会が抱える課題を発見し、解決のための企画提案を行っていきます。



[WEB](#) → [昭和女子大学との取り組み](#)